

# 京大リウマチ通信

第6号 京都大学医学部附属病院 リウマチセンター



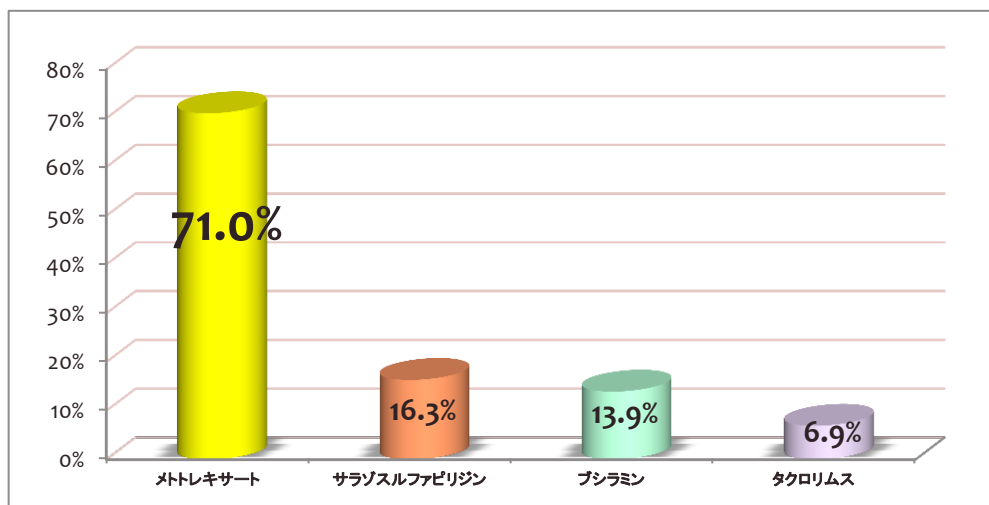
2012.6.4. 文責：藤井 隆夫



## リウマチの治療でよく使われる メトトレキサートについてお話しします

### 1)メトトレキサート(MTX)はリウマチの「基礎薬」

MTX (リウマトレックス、メトレート、メソトレキサート) はリウマチにおける「基礎薬 (アンカードラッグ)」と呼ばれます。これは、①MTXのみでも十分な効果を期待できることが多く、治療継続率が高い、②将来ほかのくすりを使う場合でもMTXと一緒にのむとより効果が上がる、ためです。下の図は、昨年度京大リウマチセンターで治療を受けた患者さんの主要な抗リウマチ薬使用率です (生物学的製剤 [バイオ製剤] 除く)。MTX がサラソスルファピリジン (アザルフィジン) やブシラミン (リマチル)、タクロリムス (プログラフ) に比べて圧倒的に多いことがわかります (約 70% の患者さんが使用)。



### 2)MTX が選ばれる理由は？

リウマチは「炎症」と「免疫の異常」をあわせもつ病気です。それらをうまく押さえ込むことが重要なのですが、MTX はその両方にバランスよく働くことがわかっています。また飲み薬なのに、注射薬の生物学的製剤 (レミケード、エンブレル、ヒュミラ、アクテムラ、オレンシア、シンボニー) に近い効果が得られることがしばしばあります。MTX が十分効かなかった患者さんでも生物学的製剤の効果を高める作用があるので、生物学的製剤を使われる患者さんでもMTX の副作用がなければ継続いただくのがおすすめです。



### 3)副作用はないのですか？

認めることがありますが、その詳細が長年の経験から明らかになっており、注意すれば他の抗リウマチ薬に比べても決して多くはありません。

副作用が出る、出ないは、

- ①患者さんの年齢や合併症 (以下を参照)
- ②MTX の量 (少ないと週 2 カプセル、多いと 8 カプセル服用になります) によります。

年齢の高い方 (>70 歳)、糖尿病のある方、以前肺炎をしたことがあるなど肺の弱い方、原因はともかく肝臓を悪くしたことがある方、腎臓が悪いと言われている方、などは要注意です。また MTX 以外のリウマチのくすりで血液の細胞が減ってしまったことのある方、過去に癌を患ったことのある方も医師に申し出てください。これらの患者さんでも通常 MTX を使用することはできますが、量を調節して、慎重にモニターすることが大切です。以下に注意すべき副作用をあげてみます。

#### <吐き気、口内炎>

(たとえば食事がとれないほどの) ひどい症状であれば早めに相談してください。

#### <肝機能障害>

自覚症状は通常ありません。定期的な血液検査が大切です。なおほとんどの場合 MTX の減量や葉酸の併用でコントロール可能です。

(次ページに続く)

### <感染症による肺炎・間質性肺炎>

強い咳、息切れ、呼吸困難感、発熱 (>38℃) などの症状がでた時は、それ以上 MTX を服用せず、すぐ受診してください。

### <血球減少>

細菌やウイルスと戦うからだのなかの細胞（白血球）や、出血した血液を止める細胞（血小板）が少なくなることがあります。これらの細胞の数については定期的な血液検査でチェックする必要があります。なお青あざが急に増えた、口の中でしばしば出血するなどの症状が出たら早めに受診ください。

### <リンパ節腫脹>

首やわきの下のリンパ節が腫れることがあります。続く場合には相談ください。なお過去にリンパの癌を疑われたり経験した方は MTX を使用できません。

### **こんなときは MTX を一時飲むのをやめましょう**

以下のような場合には MTX を休薬することで、副作用が予防できる可能性が高まります。1 週間のみの休薬でリウマチがすぐ悪化することはありませんので、すぐ受診できないときには MTX を 1 回中止して、早めに医療機関を受診してください。なお手術を予定された場合でも、たいていの場合 MTX の継続は可能ですが、早めに主治医に相談しましょう。

#### 1. 感染症が疑われるとき

かぜ症状（のどの痛み、頭痛など）が強いとき、熱が続くとき、咳のつよいつよいつとも違う息苦しさがあるとき

#### 2. 以前にはなかった口内炎が多く出ているとき

#### 3. 熱中症（特に高齢の方、夏場に注意!）、食欲低下、嘔吐、下痢などで脱水症状（尿の出が悪い、口が強く渇く）が強いとき

#### 4. 皮膚の青あざ、口の中の出血、繰り返す鼻血など出血傾向が見られるとき

#### 5. 帯状疱疹（ヘルペス）など、からだの広い範囲に皮膚の症状がでたとき

**→2 週間以上中止することになる場合は必ず主治医に連絡を!**

**(あまり長く中止するとリウマチが悪くなります!)**



### **MTX と一緒に飲んではいけないものは?**

MTX の作用を弱める薬として葉酸が知られています。副作用の予防のため葉酸製剤（フォリアミン）を使用するのもそのためです。なお葉酸を多く含むサプリメントや健康食品（青汁なども注意）を過剰摂取すると MTX が効きにくくなります。また過剰なアルコール摂取は、肝障害のリスクを高めます。



### **その他ひとこと・・・**

MTX を服用してリウマチがよくコントロールされている患者さんは、そうでない患者さんに比べて寿命が正常化すると報告されています。患者さん、主治医がともに理解して使えばリウマチの特効薬に近いといえます。ただし MTX 服用期間中、妊娠はできません。妊娠を考慮している方は必ず主治医に相談ください。また MTX はもちろんステロイドや免疫抑制薬を服用している方、生物学的製剤を使用している方は、インフルエンザワクチンをできる限り接種しましょう。65 歳以上の患者さんでは肺炎球菌ワクチン（ニューモバックス）もおすすめです。



#### 診療受付時間

午前 8 時 30 分～午前 11 時 00 分

診察室	月	火	水	木	金
108 号室	橋本	*橋本 (午前)	藤井	橋本	藤井
109 号室		布留(午後)	伊藤	伊藤	布留

※平成24年6月5日～10月31日まで

リウマチに関するご質問、「リウマチ通信」や「リウマチ教室」で特集してほしいテーマがありましたら、外来主治医または外来秘書にお気軽にお申し出下さい。

#### お問い合わせは・・・

京都大学医学部附属病院 リウマチセンター

代表電話 075 (751) 3111 予約電話 075(751) 4891

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54

